



第20期 中間報告書
2021年4月1日～2021年9月30日

株主のみなさまへ



THE BIOTECHNOLOGY
COMPANY™

タカラバイオ株式会社

証券コード：4974

トップメッセージ

株主・投資家の皆様におかれましては、
益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
ここに、第20期第2四半期連結累計期間の
事業概況をご報告させていただきます。

代表取締役社長 仲尾 功一



遺伝子治療などの革新的なバイオ技術の開発を通じて、 人々の健康に貢献します

第2四半期連結累計期間の業績について

2021年度(第20期)の当社グループは、2025年度を最終年度とする6カ年の「長期経営構想2025」および2022年度を最終年度とする3カ年の「中期経営計画2022」のもと、試薬・機器事業と受託事業を通じ、バイオ創薬基盤技術開発を進め、新モダリティを継続的に創出する創業企業を目指すための取り組みを推進しています。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、遺伝子医療が前年同期比で減少したものの、試薬、機器および受託が前年同期比で増加したことにより、31,551百万円(前年同期比81.4%増)となりました。

売上原価は、8,056百万円(同44.7%増)となり、売上総利益は、23,495百万円(同98.6%増)と増益となりました。販売費および一般管理費は、人件費および研究開発費等が増加し、9,389百万円(同16.1%増)となり、営業利益は、14,105百万円(同277.5%増)と増益となりました。

営業利益の増益にともない、経常利益は、14,241百万円(同272.8%増)、税金等調整前四半期純利益は、14,203百万円(同332.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利

益は、10,009百万円(同340.1%増)とそれぞれ増益となりました。

■ 第2四半期 売上高・利益

売上高	315億円	前年同期比	+81%
-----	-------	-------	------

営業利益	141億円	前年同期比	+277%
------	-------	-------	-------

親会社株主に 帰属する 四半期純利益	100億円	前年同期比	+340%
--------------------------	-------	-------	-------

通期の見通しについて

通期の業績については、当第2四半期連結累計期間の業績および直近の状況を踏まえ、2021年8月3日に公表した

業績予想を修正しました。

売上高は、機器および遺伝子医療が前回発表予想を下回るものの、新型コロナウイルスPCR検査関連製品に加え、回復基調にある一般研究用試薬が前回発表予想を上回る見込みです。また、利益面については、受託事業の原価率改善などによる利益率向上も見込まれるため、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益についても前回発表予想を上回る見込みです。

これらにより、通期連結業績については、売上高59,300百万円(前年同期比28.7%増)、営業利益20,000百万円(同43.3%増)、経常利益20,200百万円(同42.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益14,100百万円(同47.7%増)を見込んでいます。

配当について

当社は、研究開発活動を積極的に実施していくため、内部留保の充実に意を用いつつ、株主の皆様への利益還元についても重要な経営課題と位置づけ、経営成績および財政状態を総合的に勘案して利益還元を充実していくことを基本方針としております。

2021年度の期末配当は、1株当たり24円と、前期の16円から8円、前回予想(8月3日)から4円の増配を予想しています。

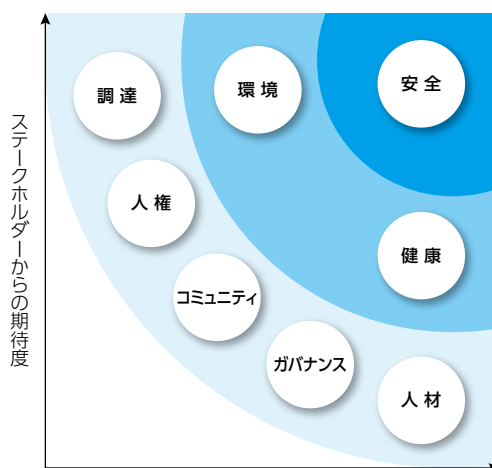
株主の皆様におかれましては、引き続き当社への温かいご理解とご支援をお願い申し上げます。

サステナビリティ経営の推進

タカラバイオは、「遺伝子治療などの革新的なバイオ技術の開発を通じて人々の健康に貢献する」という企業理念のもと、中長期的な企業価値の向上の観点から、事業活動を通じて健康を始めとするサステナビリティを巡るさまざまな社会課題に取り組んでいます。

当期より、取締役社長を委員長とする「サステナビリティ推進委員会」を立ち上げ、マテリアリティと呼ぶ重要課題を特定し、個別に具体的な目標を定め活動を推進しています。今後、「持続可能な社会の実現」と「タカラバイオグループの持続的な成長」の両立を目指しサステナビリティ経営を本格化させていきます。

マテリアリティ・マトリクス



各マテリアリティの取り組みテーマ

安全	<ul style="list-style-type: none"> 安全な品質の確保
健康	<ul style="list-style-type: none"> 世界のライフサイエンス研究と発展への支援 遺伝子解析技術の検査や診断への応用 遺伝子治療実現への取り組み
環境	<ul style="list-style-type: none"> 気候変動問題への対応 環境に配慮した製品パッケージ・梱包への対応
人材	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成 多様な人材の活躍推進 快適な職場環境とワークライフバランスの実現

ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> コーポレートガバナンスの推進 コンプライアンスの推進 リスク管理体制の強化
コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちへの教育 地域社会・文化振興への貢献 大規模災害への被災支援
人権	<ul style="list-style-type: none"> 人権の尊重 人権リスク特定に向けた取り組み
調達	<ul style="list-style-type: none"> 調達先との協業

東証再編と「プライム市場」の選択申請

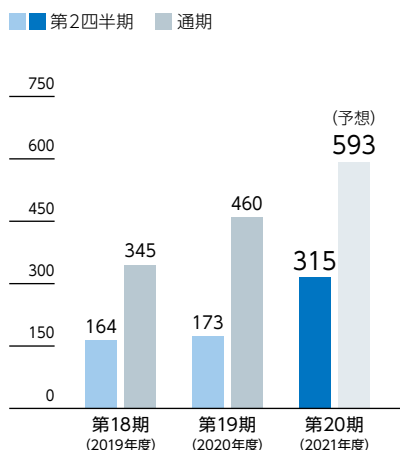
タカラバイオは、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所(以下、「東証」)より、2021年6月30日を移行基準日とした「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」を受領し、新市場区分にお

いて「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認しました。これを受け、2021年9月21日の取締役会の決議を経て、東証に対し「プライム市場」の選択申請を行いました。

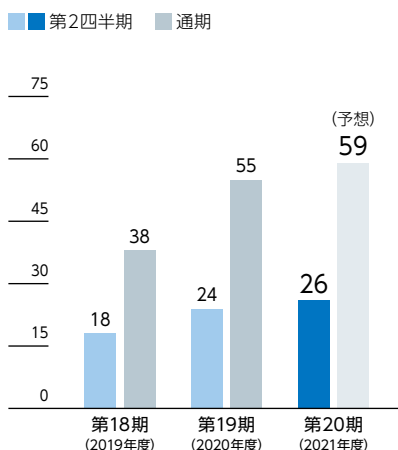
今後、2022年1月に東証から新市場区分の選択結果が公表され、同年4月4日に新市場区分へ移行する予定です。

連結財務ハイライト

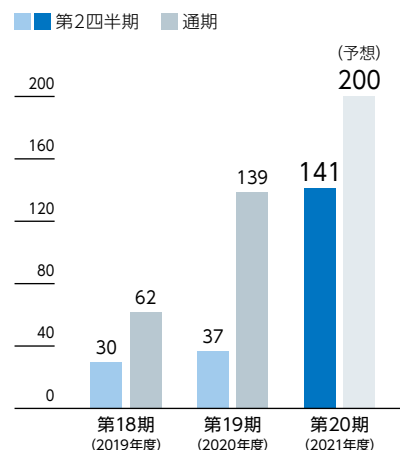
売上高(億円)



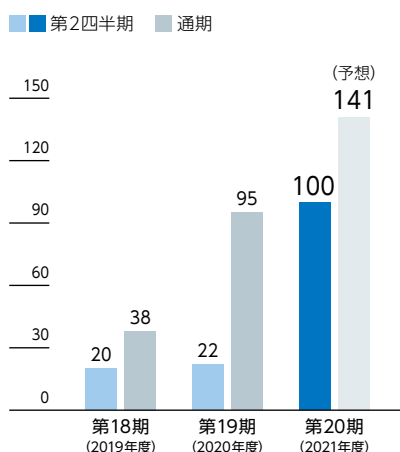
研究開発費(億円)



営業利益(億円)

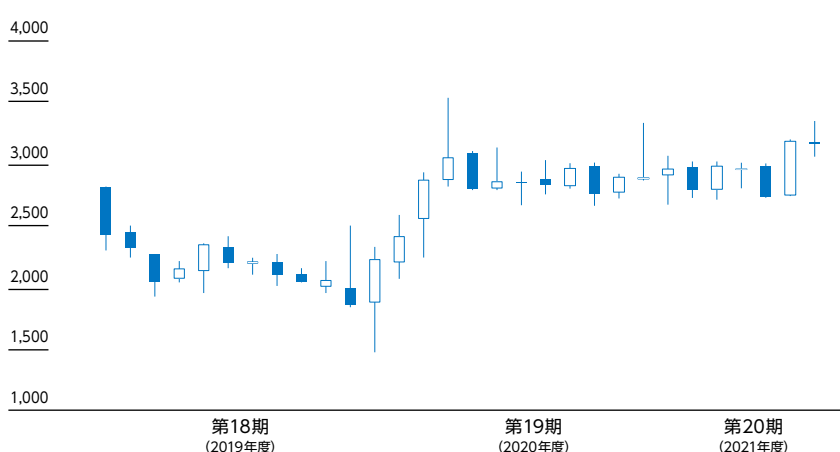


親会社株主に帰属する当期純利益(億円)



株価推移(円)

掲載期間：2019年4月1日～2021年9月30日



TOPICS

迅速・簡便な新型コロナウイルス変異株の遺伝子変異検出用PCR試薬(研究用試薬)を販売

タカラバイオでは、検体からウイルスRNAを精製する工程を必要とせず、新型コロナウイルス変異株の遺伝子変異を迅速、簡便に1時間以内で検出可能なPCR試薬(研究用試薬)を開発・販売しています。

一般に、ウイルスの変異は、感染性などに影響する可能性があるとされ、新型コロナウイルスにおいても、アルファ株、デルタ株などの変異株にみられる変異については、疫学上重要な変異と言われています。当社では、WHO(世界保健機構)や国立感染症研究所が「懸念される変異株」(VOC)や「注目すべき変異株」(VOI)として分類している変異株の遺伝子変異を検出する試薬を開発・販売し、国内の検査機関などに提供しています。

今後も、変異株の遺伝子変異検出を簡便に行う試薬の提供などを通じ、新型コロナウイルス感染症対策に貢献していきます。

新型コロナウイルス変異型検出用試薬(ダイレクト)ラインナップ

2021年10月現在

製品名	検出可能な新型コロナウイルスの変異株
Primer/Probe N501Y (SARS-CoV-2)	アルファ株、ベータ株、ガンマ株、ミュー株
Primer/Probe E484K (SARS-CoV-2)	ベータ株、カンマ株、ミュー株
Primer/Probe L452R (SARS-CoV-2) Ver.2	デルタ株、カッパ株
Primer/Probe E484K/E484Q (SARS-CoV-2)	ベータ株、ガンマ株、カッパ株、ミュー株
Primer/Probe T478K (SARS-CoV-2)	デルタ株
Primer/Probe L452R/L452Q (SARS-CoV-2)	デルタ株、カッパ株、ラムダ株
Primer/Probe F490S (SARS-CoV-2)	ラムダ株
Primer/Probe P681R/P681H (SARS-CoV-2)	アルファ株、デルタ株、カッパ株、ミュー株

事業の概要

バイオ産業支援事業

試薬・機器・受託ともに増収となりました

研究支援とCDMO事業*で、世界のバイオ研究者に高品質な製品・サービスを提供しています。

当期は、引き続き新型コロナウイルス関連製品が伸長するとともに、試薬では一般研究用製品が回復基調となり、コロナ禍前の水準を超えるようになりました。また、受託では、遺伝子治療薬などの再生医療等製品開発への製薬企業の取り組みが本格化し、開発や製造受託を行うCDMO事業が好調です。ワクチン関連受託も加わり増収となりました。

この結果、売上高は、試薬は25,966百万円(前年同期比94.7%増)、機器は712百万円(同52.6%増)、受託は4,732百万円(同40.3%増)となりました。

(注)今年度から、売上カテゴリーの名称を「研究用試薬」、「理化学機器」、「受託サービス」から「試薬」、「機器」、「受託」に変更しています。

*製薬企業などから医薬品の製法開発から製造までの工程を受託する事業を指します。当社では、特に、遺伝子治療薬などの再生医療等製品に注力してCDMO事業を進めています。

遺伝子医療事業

対価料収入が減少し、大幅な減収となりました

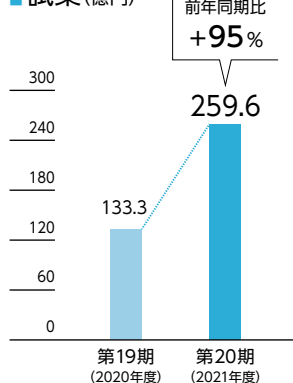
バイオ創薬基盤開発を進め、製薬企業に導出したプロジェクトの価値の最大化、遺伝子治療の課題解決を目指したプロジェクトを進めています。

当期は、治験製品の売上が減収となりました。この結果、売上高は、140百万円(前年同期比35.0%減)となりました。

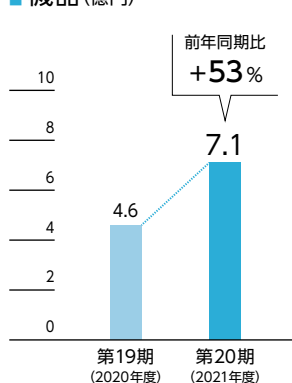
また、大塚製薬株式会社との「腫瘍溶解性ウイルスHF10開発及び販売に関する契約」(2016年12月15日締結)および「CD19・CAR 遺伝子治療薬共同開発及び販売に関する契約」(2018年4月9日締結)の両契約を終了することを、2021年11月9日付で同社と合意しました。なお、NY-ESO1・siTCR® 遺伝子治療薬(2018年4月9日に共同開発・販売契約を締結)に関しては、引き続き両社で開発を進めていきます。

第2四半期累計業績(売上高)

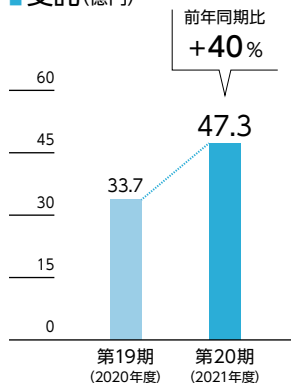
■ 試薬(億円)



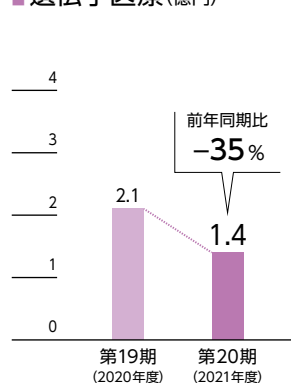
■ 機器(億円)



■ 受託(億円)



■ 遺伝子医療(億円)



下水中の新型コロナウイルスを検出するPCRキットを発売

新型コロナウイルス感染者の糞便中にウイルスが存在することを利用して、下水中に排出されたウイルス遺伝子を定期的に測定し、地域にどれくらいの感染者がいるのか、その流行状況を把握する下水疫学調査が注目されています。変異株の流行状況の把握への応用とその社会実装が期待されています。

タカラバイオは、山梨大学の研究グループと共同で、下水中に低濃度で存在するウイルス遺伝子を迅速・高感度に検出するPCR検査法を開発、検査キットとして製品化し、本年10月28日より発売しました。本製品は、下水からの新型コロナウイルス遺伝子検出に必要なPCR試薬が含まれたオールインワンキットで、煩雑な準備作業を省力化できます。

タカラバイオは、当社が保有するPCR技術、遺伝子工学技

術の実用化など、事業活動を通じた社会課題の解決に取り組んでいます。「遺伝子解析技術の検査や診断への応用」や「世界のライフサイエンス研究と発展への支援」を重要なテーマとして掲げ、人々が健康的な生活を楽しむことのできる社会づくりを目指しています。



SARS-CoV-2 Detection RT-qPCR Kit for Wastewater

連結財務状況

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 2021年3月31日現在	当第2四半期 2021年9月30日現在	科目	前連結会計年度 2021年3月31日現在	当第2四半期 2021年9月30日現在
資産の部			負債の部		
流動資産	49,115	58,107	流動負債	13,191	17,768
現金及び預金	25,993	32,589	支払手形及び買掛金	2,077	1,639
受取手形及び売掛金	12,626	13,640	未払法人税等	3,146	3,720
たな卸資産	9,184	10,690	引当金	739	834
その他	1,352	1,225	その他	7,228	11,574
貸倒引当金	△41	△39	固定負債	2,256	2,242
固定資産	40,635	46,670	退職給付に係る負債	800	793
有形固定資産	29,766	35,469	その他	1,456	1,448
建物及び構築物	10,522	11,285	負債合計	15,448	20,011
機械装置及び運搬具	3,297	3,767	純資産の部		
工具、器具及び備品	2,531	3,132	株主資本	74,945	83,027
土地	8,143	8,310	資本金	14,965	14,965
● 建設仮勘定	3,756	7,482	資本剰余金	32,893	32,893
その他	1,514	1,491	利益剰余金	27,085	35,168
無形固定資産	9,373	9,447	その他の包括利益累計額	△763	1,565
のれん	6,149	6,319	為替換算調整勘定	△529	1,775
その他	3,224	3,128	退職給付に係る調整累計額	△234	△210
投資その他の資産	1,495	1,753	非支配株主持分	120	173
投資その他の資産	1,495	1,753	純資産合計	74,302	84,766
資産合計	89,750	104,777	負債純資産合計	89,750	104,777

連結貸借対照表のPOINT ● **建設仮勘定**・・・TBUSA新事業所用建物の内装工事等にかかるものの増加です。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期累計 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで	科目	前第2四半期累計 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	17,393	31,551	特別利益	1	1,188
売上原価	5,565	8,056	固定資産売却益	1	0
売上総利益	11,827	23,495	● 国庫補助金	—	1,188
販売費及び一般管理費	8,090	9,389	特別損失	539	1,227
営業利益	3,736	14,105	固定資産除売却損	25	38
営業外収益	143	179	● 固定資産圧縮損	—	1,188
受取利息	60	65	事業整理損	464	—
為替差益	2	36	その他	49	—
不動産賃貸料	61	65	税金等調整前四半期純利益	3,281	14,203
その他	18	11	法人税、住民税及び事業税	1,203	4,401
営業外費用	59	43	法人税等調整額	△212	△253
支払利息	12	11	法人税等合計	990	4,148
不動産賃貸費用	24	29	四半期純利益	2,291	10,054
その他	22	1	非支配株主に帰属する当期純利益	16	45
経常利益	3,820	14,241	親会社株主に帰属する当期純利益	2,274	10,009

連結損益計算書のPOINT ● **国庫補助金、固定資産圧縮損**・・・国庫補助金を活用した新型コロナウイルスワクチンに関する製造体制の整備にかかるものです。

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期累計 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
四半期純利益	2,291	10,054
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△699	2,312
退職給付に係る調整額	16	23
その他の包括利益合計	△683	2,335
四半期包括利益	1,608	12,390
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,598	12,337
非支配株主に係る四半期包括利益	9	53

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第2四半期累計 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	当第2四半期累計 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,553	9,914
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,417	△10,686
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,030	△1,992
現金及び現金同等物に係る換算差額	△209	568
現金及び現金同等物の増減額	1,897	△2,195
現金及び現金同等物の期首残高	14,462	23,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,360	21,113

会社概要 (2021年9月30日現在)

会社概要

商号	タカラバイオ株式会社 TAKARA BIO INC.
本店所在地	滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
電話	077-565-6920 (代表)・6970 (広報・IR担当)
設立年月日	2002年4月1日
資本金	149億6,582万8,496円
事業内容	試薬・機器などの製造・販売事業、 受託事業、遺伝子医療事業
従業員数	1,621名(タカラバイオグループ連結)

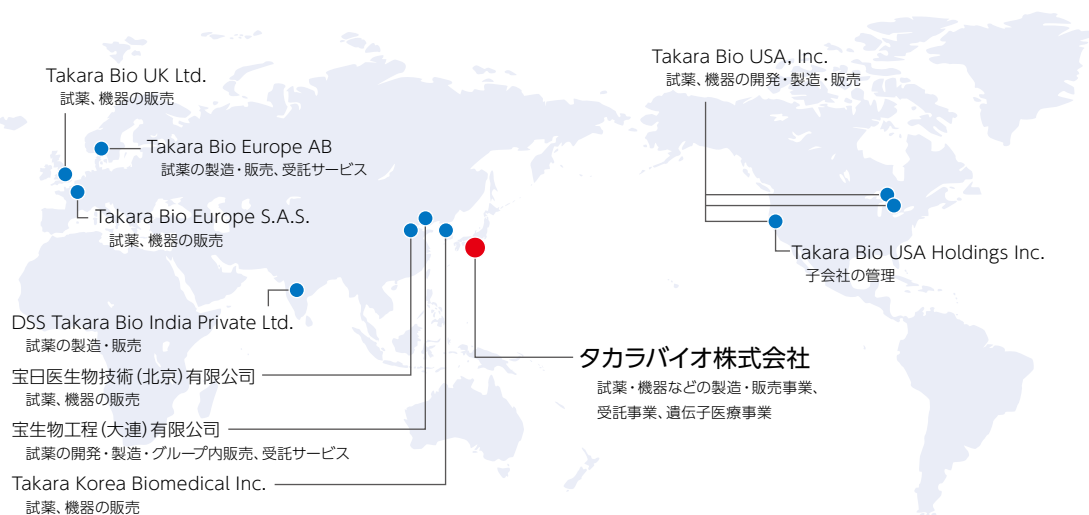
株式の状況

発行可能株式総数	400,000,000 株
発行済株式総数	120,415,600 株
株主総数	39,695 名

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
宝ホールディングス株式会社	73,350,000	60.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	6,650,500	5.52
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,749,400	2.28
THE BANK OF NEW YORK MELLON SA/NV 10	1,400,000	1.16
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 384513	953,700	0.79
GOVERNMENT OF NORWAY	730,997	0.61
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	642,408	0.53
JP MORGAN CHASE BANK 385781	615,617	0.51
STATE STREET BANK WEST CLIENT-TREATY 505234	570,100	0.47
株式会社京都銀行	500,000	0.42

タカラバイオグループ会社



役員

取締役

取締役会長	大宮 久
代表取締役社長	仲尾 功一
取締役	峰野 純一
取締役	浜岡 陽
取締役	木村 正伸
取締役	宮村 毅
取締役(社外取締役)	河島 伸子
取締役(社外取締役)	木村 和子
取締役(社外取締役)	松村 謙臣

監査役

常勤監査役	喜多 昭彦
常勤監査役	玉置 雅英
監査役(社外監査役)	鎌田 邦彦
監査役(社外監査役)	姫岩 康雄
監査役(社外監査役)	牧川 方昭

執行役員

社長執行役員 CEO	仲尾 功一
専務執行役員 COO	峰野 純一
専務執行役員 CFO	浜岡 陽
専務執行役員	佐野 睦
常務執行役員	木村 正伸
常務執行役員 CMO	宮村 毅
常務執行役員	山本 和樹
常務執行役員	日下部 克彦
執行役員	小寺 晃
執行役員	西脇 紀孝
執行役員	北川 正成
執行役員	小山 信人
執行役員	掛見 卓也
執行役員	中島 恭子

ホームページでもさまざまな
情報を発信しています。
<https://www.takara-bio.co.jp>



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。 ホームページアドレス https://www.takara-bio.co.jp
定時株主総会	毎年6月		
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。	株主名簿管理人 および特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
単元株式数	100株		
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部		
証券コード	4974		

株式に関するお問い合わせ先 以下の表をご覧ください。

	証券会社に口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先		0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝祭日を除く)
マイナンバーのお届出に 関する電話お問い合わせ先		0120-84-0178(フリーダイヤル) 受付時間 平日9時～17時(土曜日、日曜日、祝祭日を除く)
各種手続お取扱店 (住所変更、配当金 受取方法の変更等)		みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほ証券株式会社 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) ※トラストラウンジでは、お取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 株式会社みずほ銀行 本店および全国各支店	※トラストラウンジでは、お取扱いできませんのでご了承ください。 (みずほ証券では、取次のみとなります。)
ご注意	支払明細発行については、右欄の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座に記録されている株式は、証券市場での売買はできません。 株式売買のためには、証券会社にお取引口座を開設し、みずほ信託銀行の特別口座から株式の振替手続が必要となります。

■単元未満株式を保有されている方へ

単元未満株式(100株未満株式)をお持ちの場合、会社に対して買取の請求を行うことができます。
【お問い合わせ先】証券会社の口座で管理されている単元未満株式 ⇒ 口座を開設されている証券会社
特別口座で管理されている単元未満株式 ⇒ みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

口座振込による配当金受取のご案内

「配当金振込指定書」

をご提出いただくだけで、手続きが完了します。お手続きの詳細・お問い合わせは、お取引の証券会社へご連絡ください。(特別口座は除く)

配当金のもらい忘れがなくなります

銀行窓口に行く必要がありません

配当金のお受け取り方法は、右記の3つの方式からお選びいただけます。

銀行口座で受領

1 個別銘柄指定方式

銘柄ごとに銀行等の口座を指定し、配当金をお受け取りいただける方式です。

証券口座で受領

2 登録配当金受領口座方式

すべての銘柄の配当金を、あらかじめご指定いただいた1つの銀行等の口座でお受け取りいただける方式です。

証券口座で受領

3 株式数比例配分方式

お取引の証券会社の証券口座で配当金をお受け取りいただける方式です。

免責事項：本報告書に記載されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果について当社グループが保証するものではありません。

タカラバイオ株式会社

〒525-0058 滋賀県草津市野路東七丁目4番38号
URL:https://www.takara-bio.co.jp

